

うたごえ新聞

9/6

(1999年)

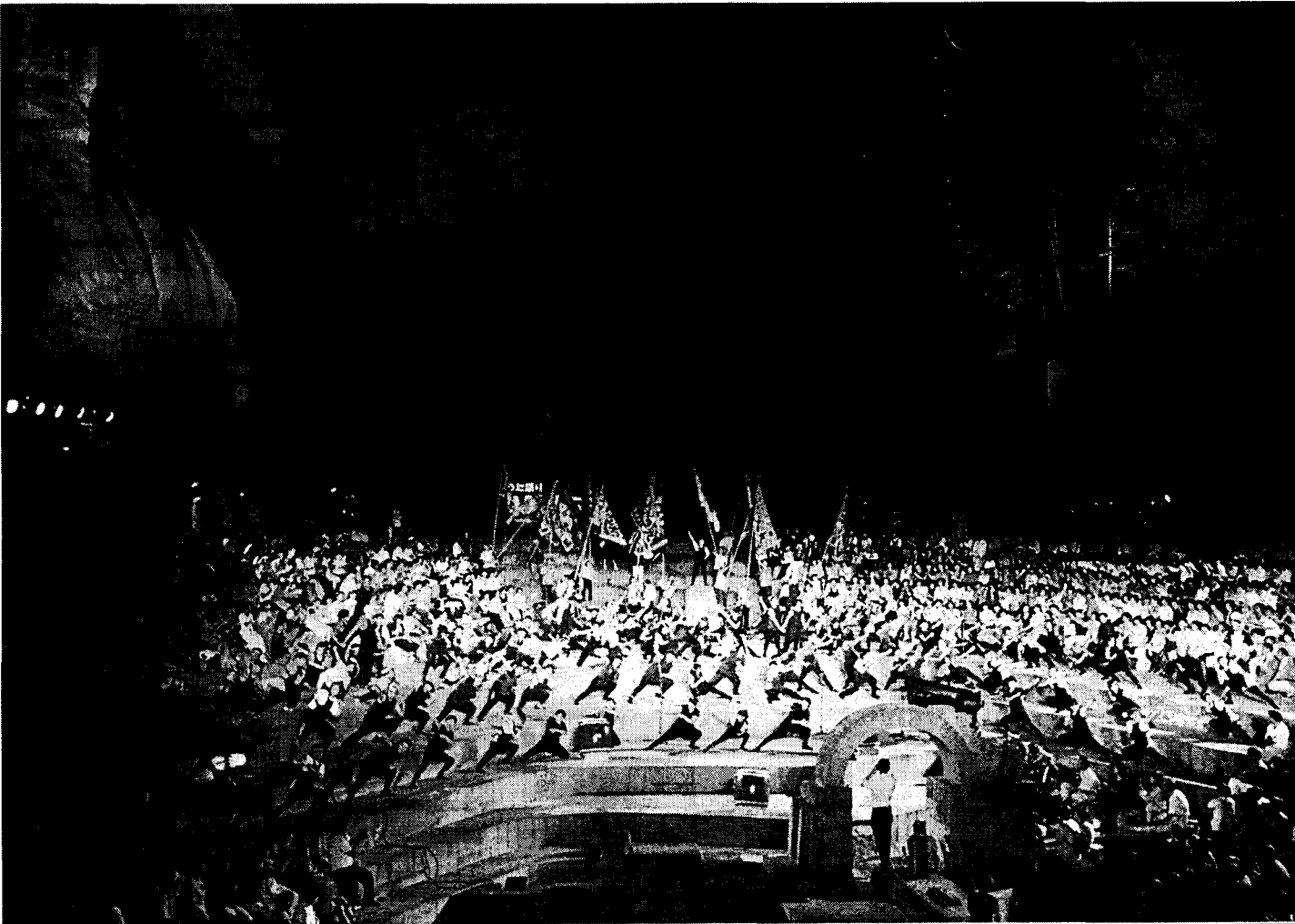
NO. 1722

THE SINGING VOICE OF JAPAN (UTAGOE)

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
E-Mail = utashin@pop06.odn.ne.jp
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行

新しい世紀へ

初めて本州から海を渡って開かれた99日本のうたごえ祭典inさっぽろ(8月20日〜22日)。記録的な猛暑の札幌に、ラトヴィアから迎えたスクリデ姉妹はじめ多彩なゲストと祭典史上初の野外コンサートなど、創意あふれた祭典は参加者の心に深く、熱い99年夏の思い出を刻んだ。
「襟裳の森の物語」。かつて北海道の

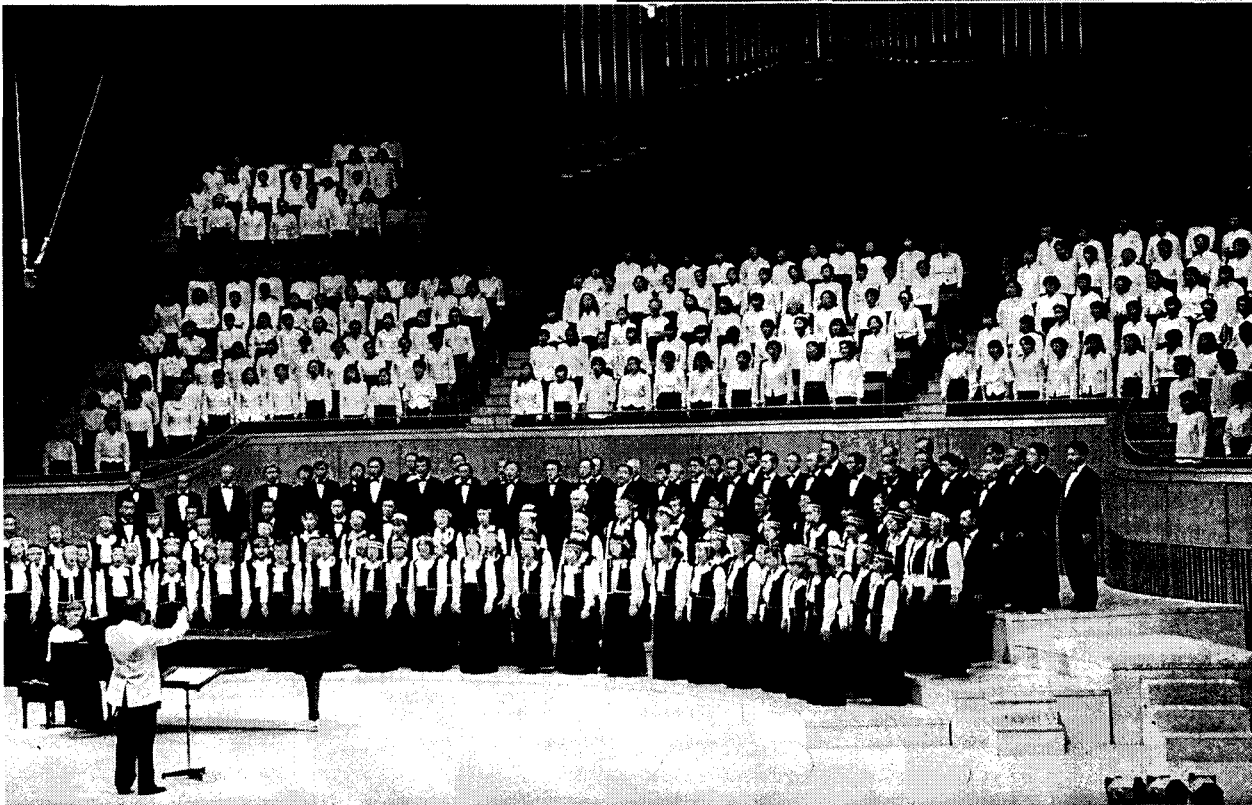


99日本のうたごえ祭典 in さっぽろ 11000人



新境地拓く

日本の労働運動に力強い息吹を伝えた炭坑のうたごえがキヤップライトとともに蘇り、演による音楽会「世紀をこえ」とともにコンサートホールを去った国鉄のうたごえのメンバーが再び故郷で歌声を響かせた音楽会「襟裳の森の物語」。子ども、青年、婦人、労働者：日本のうたごえ祭典の中、器楽大鼓、合唱、「ロ・5面。詳細は次号より」。



写真④幻想的な真夏の夜の祭典「星降る夜に...」。⑤音楽会「襟裳の森の物語」より指揮・木内宏治



映画「80日間世界一周」でインド、中国を回って日本を訪れる時、最初に映し出されるのがフィリピンである。アメリカへ渡る時にも再度、その姿を見せる。その富士山麓、静岡県で今世紀最後の来年、日本のうたごえ祭典が開かれる。

それは、数十年もつたうたごえ運動に携わってきた人にとっても、まったく初めて接する人にとっても、言い知れぬ感動を覚えるものだった。集まった数千人の人々の魅力がいつせいに光を放つ、正に「うたごえ祭典」だったからである。その心をつなぎ合わせていたのが、平和への思いだ。

☆ 今夏、私たちの目と耳を統制し戦争の道へ向かわせようという法律が次々と「自衛隊」によって成立。それだけに、数千の心と心を直接響かせ合ったうたごえ祭典はひとしお励みになった。武力と権力に対抗し得るのは平和を守る団結を措いて他にはない。
☆ 今年の成果を土台に来年の日本のうたごえ祭典は原水爆禁止世界大会ゆかりの地、静岡で開かれる。来秋の当日、数千の大合唱は、それに繋がる数千万の歌声を支えられている、そんな準備をしたい(彦)